

人口

基本構想

第7章 目標フレーム（人口、土地利用）

第1節 人口

江南市の人口は、平成18年4月1日現在約101,000人となっていますが、このままの条件が続くと、平成26年をピークに、緩やかな減少局面に入ることが予想されます。

この10年間で、今後、先に掲げた将来像を実現するために、地域経営・行政経営のそれぞれの視点から、各分野で戦略的な取り組みを展開することにより、平成26年のピーク人口を維持することを目標とします。

平成29年目標人口 102,000人

基本計画

第1章 目標フレーム（人口・財政・土地利用）

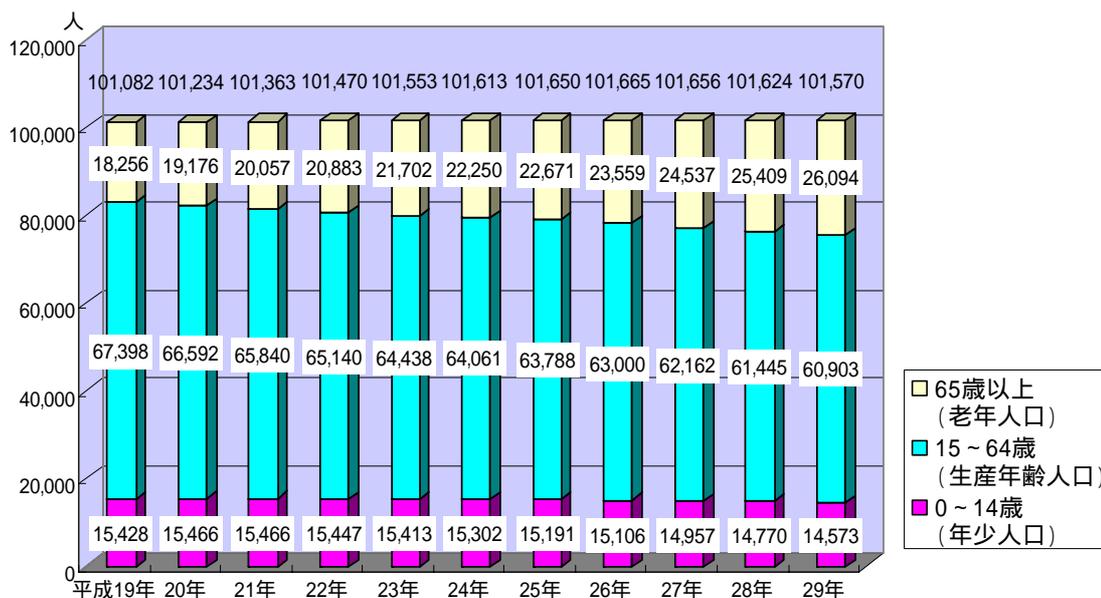
第1節 人口

人口フレームの総人口は、住民基本台帳と外国人登録データを踏まえて、人口構造は、国勢調査データを踏まえて見通したものです。

総人口

本市の総人口は、計画期間中、年平均 0.1%程度と緩やかな人口増加を続け、平成 26 年（2014 年）をピークに、約 101,000 人を維持しながら、緩やかな人口減少過程に入るものと見込まれます。

表1 総人口・年齢3区分別人口の見通し



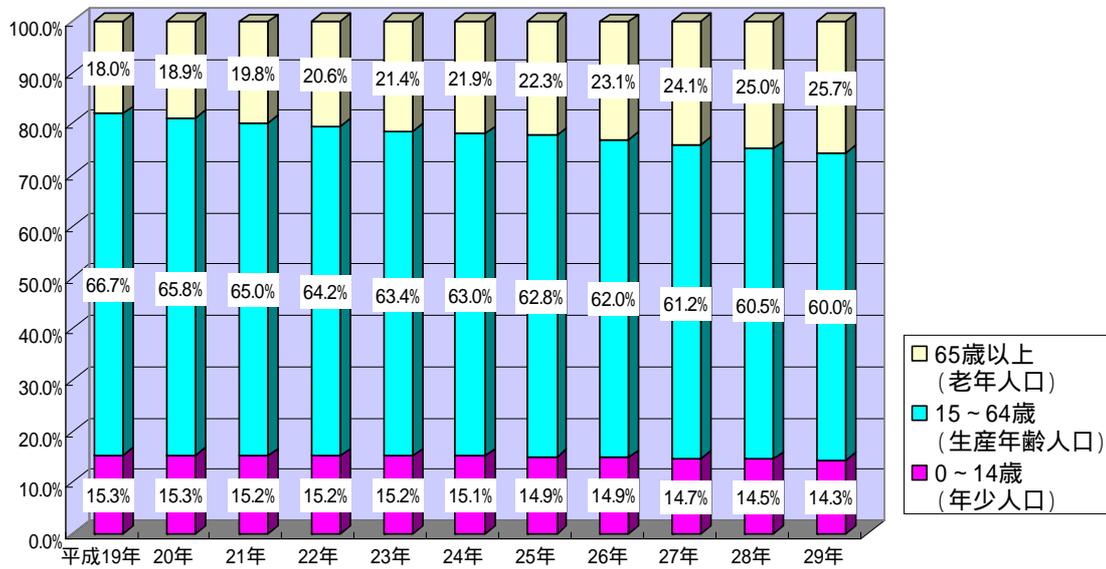
人口構造

人口の年齢構造を見ると、今後、さらに少子・高齢化が進み、出生率の低下や平均寿命の伸びから、平成 22 年（2010 年）の老年人口（65 歳以上）の割合は、20.6% へと高まり、実数も、約 21,000 人に増加するものと見込まれます。さらに、平成 29 年（2017 年）の老年人口の割合は、25.7%へと高まり、実数も約 26,000 人に増加するものと見込まれ、4 人に 1 人が高齢者になることが想定されます。

一方、年少人口（0～14 歳）や生産年齢人口（15～64 歳）は、平成 22 年（2010 年）には、それぞれ約 15,000 人と約 65,000 人となり、若干減少するものと見込ま

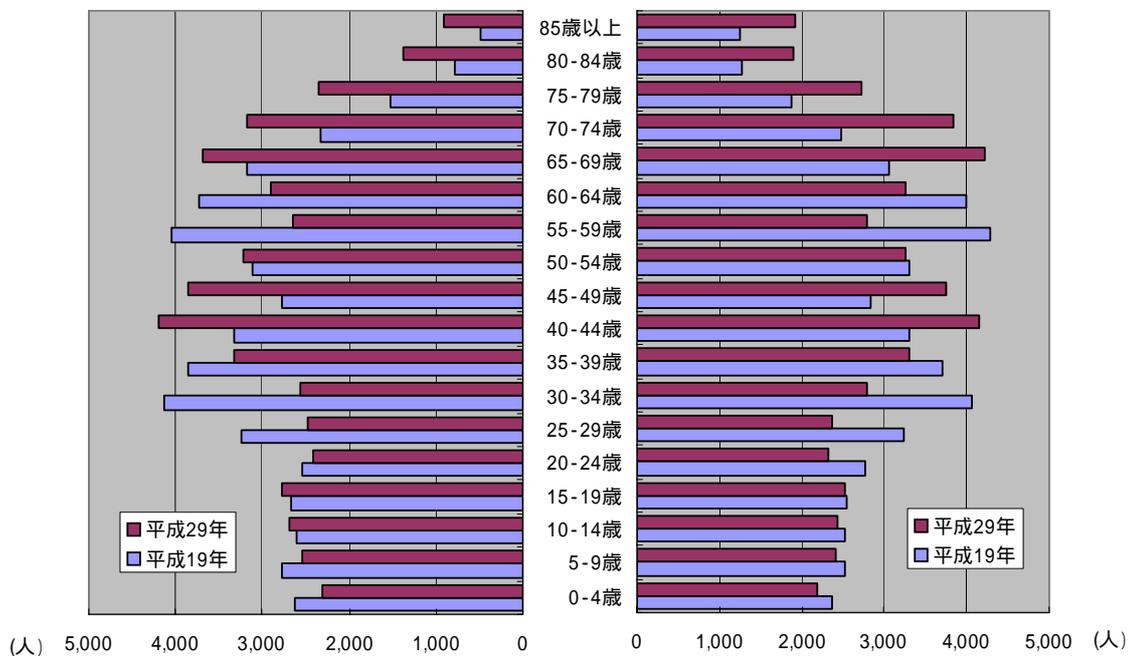
れます。また、割合についても 15.2%と 64.2%と低下することが想定されます。さらに平成 29 年（2017 年）には、それぞれ、約 15,000 人と約 61,000 人となり、その割合についても、それぞれ、14.3%、60.0%と低下することが想定されます。

表2 人口構造の見通し



将来人口推計(男性)

将来人口推計(女性)



将来目標人口

人口の見通しを踏まえたうえで、計画期間中に子育て環境の充実、安心安全度の向上、住環境の充実等の各種施策の実施効果により、本市の将来目標人口を以下のとおりとします。

	平成 22 年	平成 25 年	平成 29 年
総人口	101,700 人	101,900 人	102,000 人
年少人口 (0～14 歳)	15,473 人	15,229 人	14,653 人
生産年齢人口 (15～64 歳)	65,297 人	63,945 人	61,156 人
老年人口 (65 歳～)	20,930 人	22,726 人	26,191 人